

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【窪田小学校】

＜第6学年：「大好き 久米 ～埴輪作り～」

埴輪の製作に向けて、久米の歴史に触れた。また、埴輪作りは、以前から久米の6年生が伝統的に行っている活動であること

や地域の方々が埴輪作りの計画を立て、準備をしてくだっていることを知らせた。

児童は二人組を作って下絵を考えたり、準備を進めていったりすることを通して、ふるさとに対する思いを込めて埴輪を作ろうという気持ちを高めていった。

事前に公民館との日程を調整し、7月11日～14日の4日間において、埴輪を製作した。当日までに地域コーディネーターの方に何度も来校していただき、粘土搬入や道具の準備を行い、当日も早朝より準備等を手伝っていただいた。まず、地域コーディネーターの方が久米の埴輪作りの歴史や作り方を説明してくださった。その後、児童はペアごとに埴輪作りに取り組んだ。

1日目は、埴輪の製作中心に3時間、2日目は粘土から芯を外す作業を2時間行った。全行程、たくさんの地域の方に協力していただきながら進め、個性あふれるすてきな作品ができた。児童は自分の埴輪に愛着をもつとともに、地域の方にたいへん感謝していた。

地域コーディネーターの方が久米小学校や協力者に連絡調整してくださり、11月28日午後に久米小学校6年生と共に埴輪を里山に設置した。設置について詳しく教えていただいた後、ペアごとに設置した。地域の方が事前に設置場所の草刈りやくい打ちをしてくださっていたので、スムーズに設置作業を行うことができた。

児童は、地域の方々に感謝するとともに、地域を大切にしていこうという思いを強くもった。また、久米小学校6年生との交流の場ともなったため、久米中学校での再会を期待するなど、進学へ向けての意識が高まった。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【窪田小学校】

### <第5学年：「もち米作り大作戦」>

今年度も感染対策のため、規模を縮小して実施することとなった。「もち米づくり実行委員会」は実施せず、電話等で地域の方と実施方法について協議した。田植えに向けて、地域の方からお借りしている田んぼの石拾いを行った。田植え当日は、最初に地域の方のお話を聞いた後、機械で植えていただく様子を見学したり、タブレットでその様子を撮影したりした。その後、地域の方々に上手に植えるコツを教えていただきながら、実際に田植えの体験をした。収穫では、地域の方には、子供が稲刈りをしやすいように事前にコンバインで田んぼの周囲を刈り取っていただいたり、その場で脱穀の様子を見せていただいたりした。また、稲刈りの方法について、地域の方から教えていただいた後、直接指導していただきながら、実際に鎌を使って米を収穫することができた。稲刈り実施後の感想文からも児童が食べ物を作ることの大切さや農家の方の工夫や苦勞を感じ取ることができた様子うかがえた。



### <第3学年：「くぼ田のすてき再発見」>

自然や景観、寺や神社など、窪田の町の「すてき」を見付け、調査する活動を行った。今年度は、保護者の学習ボランティア、地域の方にも協力を得て、実際に寺や神社に出向き、見学したりインタビューしたりすることができた。グループや個人で事前に立てた課題に加え、さらに追究して調べることができた。そして、寺や神社でいろいろな体験をさせてもらったり、地域の方の思いを聞いたりする中で、窪田の人の温かさにも気付くことができた。その後、グループごとの報告会で情報を共有し合い、窪田の町のいろいろなよさを再発見することができた。窪田小学校について調べたグループは、自分たちの学校の歴史や先人の思いについて紹介し、窪田小学校を大切に思う気持ちを学級全体に広げることができた。

